

タマボウキ

Asparagus oligoclonos

ユリ科

カテゴリー

大分県 IA

環境庁 IA



高さ50～100cmの多年草。アスパラガスの仲間です。外形もそれによく似ています。雌雄異株で花期は5～6月。直径1cmくらいの球形の果実は7～8月に赤色に熟れる。大陸系遺存植物で、日本での分布は阿蘇・くじゅう地域の火山性高原に限られる。かつては「九重火山群」の各地でみられたようだが、現在では野焼きが維持されている草原のごく狭い範囲に、わずかな個体が生育している。草地の開発や野焼きの停止による植生遷移の進行、植林などで、絶滅の危険性が極めて高い。

種子植物

(写真・文:辻 寛文)

県内分布 九重火山群

分布域 九州(熊本・大分)

朝鮮半島, 中国(東北部), アムール, ウスリー, ダフリア